

スレンダーウォール

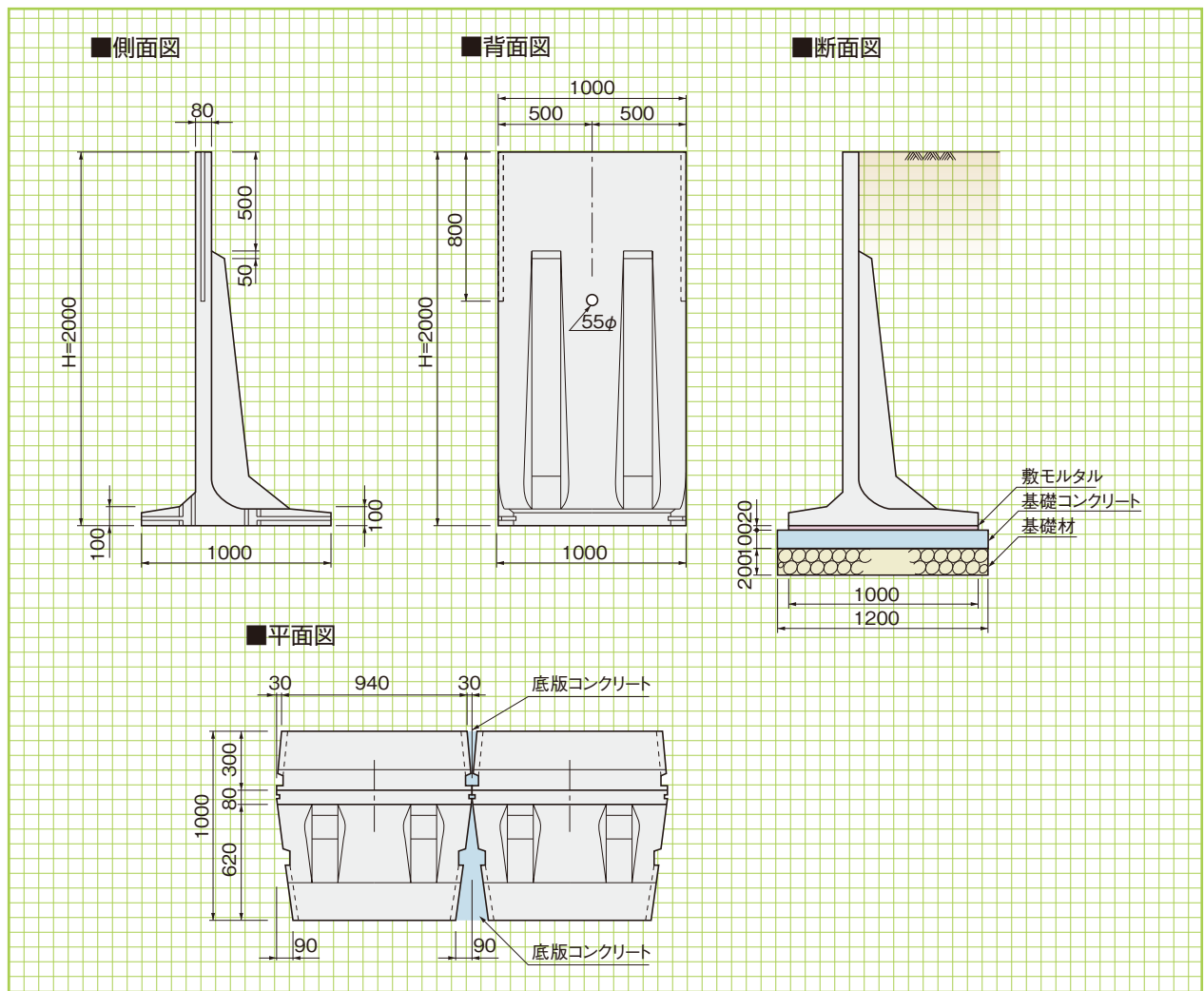


●特長

1. スレンダーウォールは、水路や擁壁として多目的に利用できます。
2. 水路として利用する場合、製品単体で自立できることにより無限の水路幅を設定することができます。
3. 逆T形状のため基礎地盤への負担が少なく、安定性が高い。
4. リブ構造で壁体を強化しているため軽量であり、運搬、施工時の省力化を図る事ができます。
5. 壁体上部を等厚とし、現場での高さ調整に対応しやすい形状となっています。
6. 小半径のカーブにも容易に対応できる底版形状となっています。



基本形状図



■コンクリート基礎工による標準施設材料表

(10m当り)

呼 称	基 礎 材 (m ²)	基礎コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	敷モルタル (m ³)	床版コンクリート (m ³)		製 品 (本)	参考重量 (kg)
					前面側	背面側		
H=2000	12.00	1.20	2.00	0.20	0.018	0.061	10	780

カーブ敷設図

擁壁類

管渠類

側溝類

道路関連

河川関連

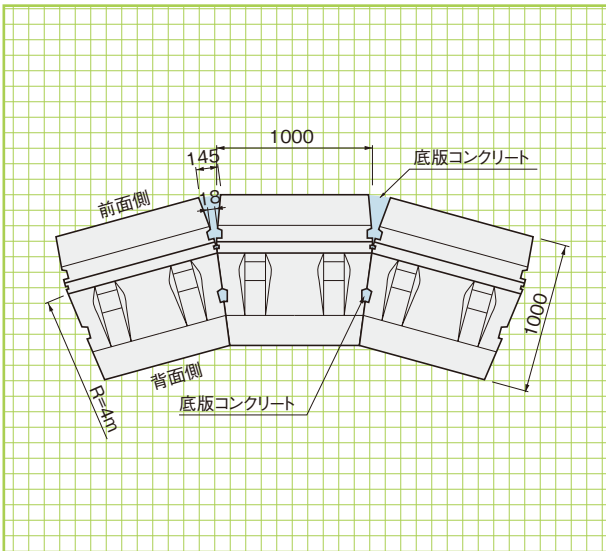
貯水槽関連

その他

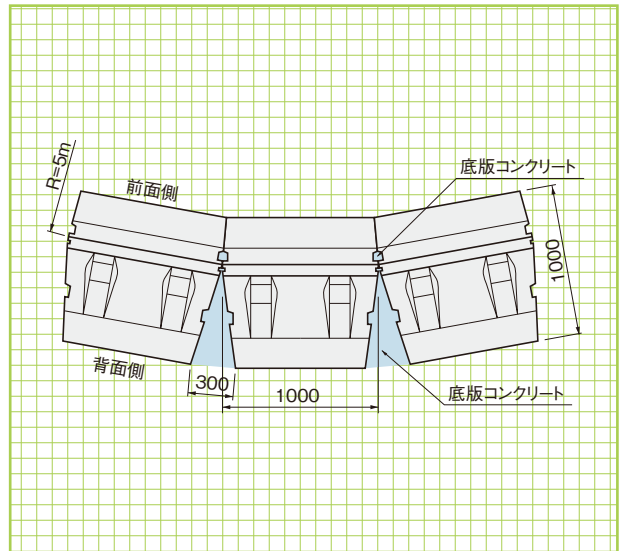
景観関連

形状・寸法

外カーブ最少R (R=4m)



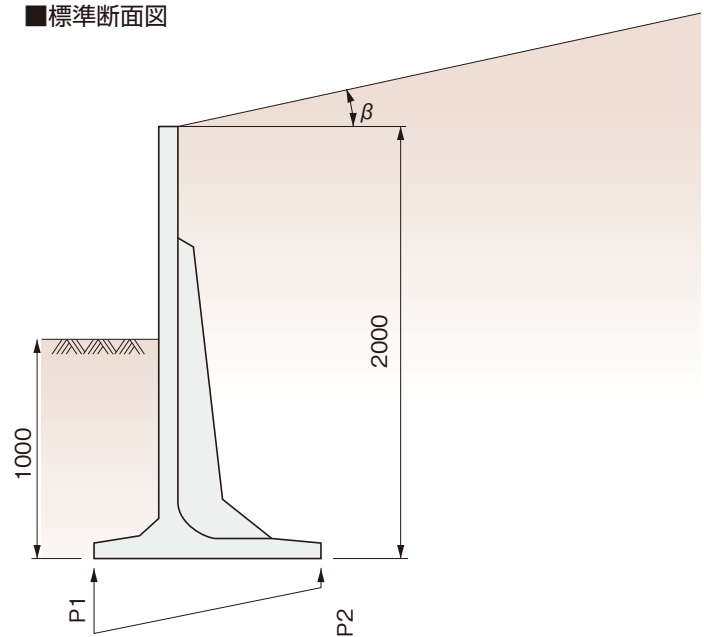
内カーブ最少R (R=5m)



■設計条件

- 背面土のせん断抵抗角 : $\phi=30^\circ$
- 背面土の単位体積重量 : $\gamma=18\text{kN}/\text{m}^3$
- 底面の摩擦係数 : $\mu=0.60$
- 前面受動土圧 : 考慮しない
- 土圧の算定法 : クーロン土圧
- 盛り土の勾配 : $\beta=17^\circ$

■標準断面図

標準断面図
設計条件

形状・寸法

